



# 砂時計

絵と題字 柳原良平

## リーマン・ショック

米国内で低所得者向け住宅ローンが焦げ付き、住宅バブルが崩壊したことに伴って、米証券会社リーマン・ブラザーズは2008年9月、6130億ドル(約63兆8千億円)の負債を抱えて経営破綻した。東京・六本木ヒルズに入っていた日本法人にもその激震が襲った。写真。破綻が、リーマンの発行した投信などを購入していた企業に大きく影響したことで、世界的な金融危機に発展した。



本当につぶれるとは思って  
いなかった。2008年9月  
その日、香川県の実家に帰  
っていたぐらいたから。

真鍋邦大さん(31)の勤め先  
は東京の証券会社リーマン・  
ブラザーズ日本法人。サブプ  
ライムローン問題が騒ぎにな  
っていた。心配する両親と一  
緒に食事をしながら「ほかの  
会社と合併することはあるか

# 球場へ帰りがかったけど

もしれないけど、つぶれるこ  
とはないよ」と説明した。

夜、状況は一変する。イン  
ターネットを見ると米国のニ  
ュースが「破綻確実」と知ら  
せていた。「ごめん。うそだ  
する」という理由で選んだ。

「。翌朝、両親に言い残  
して東京に飛んで返った。

東大大学院で環境と金融と  
のかかわりを学んだ。就職先  
は「早く一人前になれる気が  
する」という理由で選んだ。

債券の運用や営業を担当し、  
仕事ができるようになりかけ  
ていた矢先の荒波。

これから何をしよう……。  
頭に浮かんだのは、東大野球  
部で暮らした日々だった。

えられないほど面白かった。  
プロ野球・中日、阪神で監  
督を務めた星野仙一さんが主  
催する人材育成のプロジェクト  
に出会った。大学院時代に  
助監督を務めた経験がある。

また、あの楽しさを……。応  
募したら、合格した。

「再就職」は失敗だった。

生きていくために再び金融  
の世界に戻った。短い間に、  
思うようにいかないことが続  
いた。それでも、不思議とい  
まはプラスにとらえられる。

新しい世界も見られた。い  
い時間を過ごせた。人よりも  
経験を積んだことが、大  
切だと思ふ。

内野手だった自分が出た試  
合のチーム成績は4年間で6  
勝71敗1分。プロ入りを狙う  
選手もいる東京六大学リーグ  
で、ずっと最下位だった。た  
だ、6勝のなかには、20年以  
上勝てなかった明大戦で勝利  
を収めた1勝もある。負け続  
きの状況のなかで、真剣に勝  
ちを狙う。それが、何にも代

昨年2月、米国に渡った。  
大リーグの下のマイナーリー  
グのチームで研修し、球団経  
営のイロハを学ぶためだ。フ  
ロリダ州の1Aの球団で担当  
したのはオープン戦の球場の  
売店管理。梱卸し、運搬など  
何でもやった。この球団での  
インターンは2カ月ほど。別  
の球団の仕事を探し、今度は

今年初め、東京六大学のO  
Bたちが集まる草野球大会に  
参加した。神宮球場のグラウ  
ンドに立ったのは助監督時代  
以来、6年ぶりだった。人工  
芝の感触、グラウンドを流れ  
る空気。すべてが懐かしく、  
心地よかった。



6年ぶりのユニホーム。筋肉が落ちて、  
少し緩かった

東京新宿区

文・河野 正樹  
写真・中田 徹